

おはようございます。

12月の10分朝礼です。2021年も残すところ1ヶ月を切ってきました。

今、感染症は少し落ち着いていますが、「換気」「手洗い」「マスク」と、今まで通りの対策は続けていきましょう。インフルエンザにも有効です。ただ、体育の授業で持久走をしているときは、マスクなしでもハアハアと苦しいのに、不織布のマスクをつけているとたいへん苦しいはずです。そのあたりは、気をつけてください。

さて、今日はみなさんに、「あるできごと」を紹介します。

12月2日(木)の夕方に、近隣の方から電話がありました。教頭先生がでたのですが、私は「二中学生が道に広がって歩いている。」と言うような苦情かと、ドキドキしました。ところが、どうやらお礼を言われている様子です。

12月2日の朝、90歳になる高齢の女性の方が、歯医者さんに行こうとして、バス通りで迷ってしまいました。大変困っていたところ、登校途中の二中学生が声をかけて、歯医者さんまで案内してくれたとのこと。その方は、デイサービスでお友達に、「こんなうれしいことがあった。お礼を言いたいけどどうしよう。」とうちあけました。そのお友達は北村さんと言って、二中の卒業生で、5期生だそうです。そして「わたしが二中に電話してお礼を言ってあげる!」と電話をしてきたということでした。

二中学生のやさしい思いやりのある行動をきいて、大変うれしい気持ちになりました。

そして、お友達のためにお礼の電話をかけてこられた北村さんにも、温かい心づかいを感じました。

「ありがとう」と言われるのは、うれしいものです。

今回、名前はわかりませんが、私からもお礼を言います。

「温かい気持ちにさせてくれてありがとう」。